

**製品名: サイトケラチン 19 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab09740**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	44kDa

**抗原情報**

遺伝子名	KRT19
別名	KRT19; Keratin, type I cytoskeletal 19; Cytokeratin-19; CK-19; Keratin-19; K19
遺伝子 ID	3880.0
SwissProt ID	P08727
免疫原	抗血清はヒト KRT19 の C 末端領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 321-370

**背景**

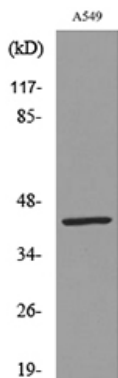
この遺伝子によってコードされるタンパク質はケラチンファミリーに属します。ケラチンは上皮細胞の構造的完全性を担う中間径

フィラメントタンパク質であり、サイトケラチンと毛髪ケラチンに分類されます。I型サイトケラチンは、異型ケラチン鎖が対になって配列した酸性タンパク質で構成されています。この既知の最小の酸性サイトケラチンは、類似のファミリーメンバーとは異なり、上皮細胞において塩基性サイトケラチンと対になっていません。これは、発達中の表皮を包む一時的に表面に位置する層である周皮層で特異的に発現します。I型サイトケラチンは、染色体 17q12-q21 の領域に密集しています。 [RefSeq 提供、2008年7月]、発生段階：毛包のあらゆる発生段階に存在します。、ドメイン：このケラチンは、C末端ドメインを欠いている点で他のすべてのIFタンパク質と異なります。、機能：筋線維の組織化に関与しています。KRT8と共に、横紋筋のコスタメアで収縮装置をジストロフィンに連結するのに役立ちます。、その他：細胞骨格ケラチンとミクロフィブリルケラチンには、I（酸性、40~55 kDa）とII（中性~塩基性、56~70 kDa）の2種類があります。、類似性：中間径フィラメントファミリーに属します。、サブユニット：2つのタイプIケラチンと2つのタイプIIケラチンからなるヘテロ四量体です。PNNおよびDMDのアクチン結合ドメインと相互作用します。HCVコアタンパク質と相互作用する。、組織特異性：毛包の深部外毛根鞘にある基底ケラチノサイトの特定の領域で発現する。また、汗腺および乳腺の管状および分泌細胞、胆管、消化管、膀胱尿路上皮、口腔上皮、食道、外頸管上皮（タンパク質レベル）にも発現が認められる。表皮基底細胞、乳頭表皮、および毛包の特定の領域にも発現する。さらに、ヒト臍帯の静脈と動脈の両方の血管壁細胞の一部、および臍帯血管平滑筋にも発現が認められる。ジストロフィンおよびスペクトリンを含む構造において、筋形質膜のコスタメアに集積する筋線維にも発現が認められる。、

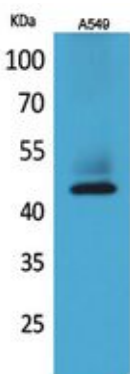
## 研究分野

シグナル伝達

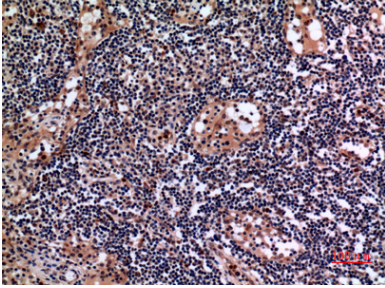
## 画像データ



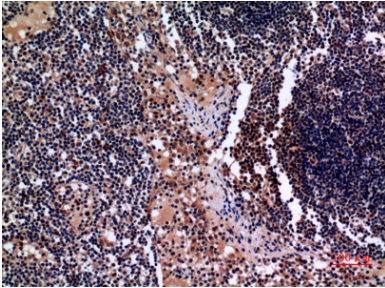
KRT19 抗体を使用した A549 細胞の溶解物のウェスタン ブロット分析。



サイトケラチン 19 ポリクローナル抗体を用いた A549 細胞のウェスタンブロット分析。  
二次抗体は 1:20000 に希釈された。



パラフィン包埋ヒトリンパ腺の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ヒトリンパ腺の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された